



8-2 人権尊重社会の推進

すべての人々の基本的な人権が尊重され、かけがえのない人生をその人らしく過ごせる環境づくりを進めます。

■施策の展開内容

すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

■現状と課題

- いじめや虐待、インターネット上の誹謗中傷、プライバシーの侵害、特定の民族や国籍の人々を排除するような差別的言動、障害者などマイノリティに対する偏見はいまだに存在しています。人権が守られるよう、すべての人が人権についての理解を深める取組を進める必要があります。
- 自殺に至る原因や動機はさまざまで、差別、いじめ、DV、誹謗中傷、生活困窮、過労などの社会的要因が複合して起こることが知られています。それぞれの要因に応じて、家庭、地域、学校、職場、専門機関などと連携し、対応する必要があります。

■主な取組

人権尊重社会の推進

- すべての人がお互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性や能力を十分に発揮できるよう、人権についての理解を深めるための啓発活動を推進します。
- 差別や虐待、ハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談を受け付けるため、関係機関と連携し、人権擁護委員による人権相談を実施していきます。
- 非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、地域全体で理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、啓発運動に取り組みます。
- 自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにはいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。

■ 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	20.7% (R2)	30%	ゲートキーパー研修受講者アンケート結果